経済学部

Ⅰ　教育の水準 ・・・

Ⅰ　教育の水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

分析項目Ⅰ　教育活動の状況

〔判定〕　期待される水準を上回る

〔判断理由〕

観点１－１「教育実施体制」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

○　ファカルティ・ディベロップメント（FD）として、授業アンケート等で要望があった項目について、シラバスで学生に対して改善策を明示しているほか、シラバスの内容を教員同士で相互閲覧してチェックするなどの見直しを実施している。また、企業関係者や学識経験者をメンバーとするアドバイザリー・ボードの意見を、執行部教員が聴取する場を設けている。

観点１－２「教育内容・方法」について、以下の点から「期待される水準を上回る」と判断した。

○　知的財産や規制緩和等、経済的・法的側面が複合する課題に対する解決能力の開発を目的とした法経連携専門教育プログラム（ELS）を、法学部と共同で実施しているほか、平成 25 年度に専門性・学際性・国際性を兼ね備えたグローバル人材の育成を目的とした５年一貫経済学国際教育プログラム（IFEEK）を、平成 26 年度に法学部・国際文化部との共同で実施する EU エキスパート人材養成プログラム（KUPES）を設けている。

○　学生の段階的な履修を促すために、専門科目を基礎的な科目から専門性の高い科目の５段階にナンバリングしている。

○　学習意欲を高めるための取組として、優れた卒業論文に「最優秀論文賞・優秀論文賞」を授与しており、「最優秀論文」は学部ウェブサイトに著者名、論文タイトル、論文全文を掲載し、「優秀論文」は著者名、論文タイトルを掲載している。また、最も優れた学業成績を修めた卒業生に「六甲台賞」を、前年度に成績優秀であった２年次生から４年次生に「凌霜賞」を授与している。

○　平成 24 年度の文部科学省「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事業」の採択により、グローバル英語コースにおいて外国人教員の指導による学術英語力の強化に加えて、各取組部局の特色を活かした教育プログラムにおける外国語による専門科目の相互履修を推進しており、当該学部からは 40 名の学生が履修している。

以上の状況等及び経済学部の目的・特徴を勘案の上、総合的に判定した。

分析項目Ⅱ　教育成果の状況

〔判定〕　期待される水準にある

〔判断理由〕

観点２－１「学業の成果」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

○　卒業式において実施している卒業生アンケートの結果では、修学の満足度に対して肯定的な回答が 88.2％となっているほか、カリキュラム、シラバス、授業内容、成績評価についても８割以上が肯定的な回答をしている。

○　平成 27 年度卒業生のうち 88 名が在学中に TOEIC を受験し､そのうち 34 名が想定する外国語力スタンダード目標である 760 点以上を獲得しており、850 点以上の者も９名いる。

観点２－２「進路・就職の状況」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

○　第２期中期目標期間（平成 22 年度から平成 27 年度）において、卒業生全体における就職者の割合は毎年 80％以上であり、主な就職先は、金融業・保険業、建設業、公務員となっている。また、大学院進学率は平均 5.5％となっている。

以上の状況等及び経済学部の目的・特徴を勘案の上、総合的に判定した。

Ⅱ　質の向上度

１．質の向上度

〔判定〕　高い質を維持している

〔判断理由〕

分析項目Ⅰ「教育活動の状況」における、質の向上の状況は以下のとおりである。

○　第２期中期目標期間において、法学部と共同で、知的財産や規制緩和等経済的・法的側面が複合する課題に対する解決能力の開発を目的とした法経連携専門教育プログラム（ELS）、平成 25 年度には専門性・学際性・国際性を兼ね備えたグローバル人材の育成を目的とした５年一貫経済学国際教育プログラム（IFEEK）、平成 26 年度に法学部・国際文化部との共同で実施する EU エキスパート人材養成プログラム（KUPES）を実施している。

○　IFEEK では海外協定大学への半年から１年の留学を経験しながら、３年半で学部を早期卒業し、最短５年間で経済学修士の学位を取得することができる。プログラムでは、海外招へい教員による専門科目や、外国人教員による学術英語に関する講義、専任教員により英語で行われる IFEEK 生専用の特別演習を実施している。

分析項目Ⅱ「教育成果の状況」における、質の向上の状況は以下のとおりである。

○　第２期中期目標期間において、卒業生全体における就職者の割合は毎年 80%以上となっており、主な就職先は、金融業・保険業、建設業、公務員となっている。また、大学院進学率は平均 5.5%となっている。

○　平成 27 年度卒業生のうち 88 名が在学中に TOEIC を受験し､そのうち 34 名が想定する外国語力スタンダード目標である 760 点以上を獲得しており、850 点以上の者も９名となっている。

これらに加え、第１期中期目標期間の現況分析における教育水準の結果も勘案し、総合的に判定した。

２．注目すべき質の向上

○　平成 25 年度に専門性・学際性・国際性を兼ね備えたグローバル人材の育成を目的とした５年一貫経済学国際教育プログラム（IFEEK）を設けている。これにより海外協定大学への半年から１年の留学を経験しながら、３年半で学部を早期卒業し、最短５年間で経済学修士の学位を取得することができる。プログラムでは、海外招へい教員による専門科目や、外国人教員による学術英語に関する講義、専任教員により英語で行われる IFEEK 生専用の特別演習を実施している。